



CFTC建玉報告:円/ドル、ユーロ/ドル(5月8日時点)

米商品先物取引委員会(CFTC)が11日に発表した建玉報告によると、8日時点のシカゴ・マーカンタイル取引所(CME)IMM通貨先物円(対ドル)相場の大口投機筋(非商業部門)の売越幅は5462枚となり、前週と比べ4057枚拡大。投機筋は売り買い共にポジションを減らし、買いポジションをより多く減らしていた。

期間中の円(対ドル)は軟調。2日に発表された米連邦公開市場委員会(FOMC)ではインフレに関して「2%に近づいてきた」と足元の判断が引き上げられたが市場の思惑ほどタカ派でなかったことや、4日発表された4月の米雇用統計で非農業部門就業者数や平均時給が市場予想を下回ったことから円売りドル買いが進行。しかし、米中貿易摩擦の緊張緩和やシリア、北朝鮮を巡る地政学リスクが後退したことや、米長期金利が4年3か月ぶりに3%台を付けるなど、米長期金利の上昇がドル買いを支援したことで、週間ペースでは円高ドル安が進行した。

期間中のユーロ(対ドル)は下落。大口投機玉の買越幅は12万0505枚となり、前週比63枚縮小。

米長期金利の上昇を受け、欧米の金利差を意識したユーロ売りドル買いが進行。また、3月の独製造業受注は前月比0.9%減と、市場予想に反して3か月連続で減少したことや、4月のユーロ圏小売業PMIは48.6と、昨年3月以来の好不況の分かれ目となる50から低下。こうした中、欧州中央銀行(ECB)の緩和政策縮小への期待が薄れ、年初来安値となる1.18ドル台後半へ下落した。

日付	円/ドル		ユーロ/ドル	
	終値	枚数	終値	枚数
01/09	112.62	-125,536	1.1933	144,691
01/16	110.34	-119,350	1.2266	139,490
01/23	110.32	-122,870	1.2294	144,717
01/30	108.84	-114,696	1.2397	148,742
02/06	109.54	-112,876	1.2373	140,823
02/13	107.78	-115,509	1.2356	127,289
02/20	107.24	-108,338	1.2336	126,126
02/27	107.36	-96,651	1.2231	137,977
03/06	106.20	-86,845	1.2405	132,972
03/13	106.54	-79,539	1.2391	146,380
03/20	106.53	-21,999	1.2240	132,739
03/27	105.38	-3,668	1.2401	141,064
04/03	106.62	3,572	1.2268	134,381
04/10	107.19	2,761	1.2352	147,463
04/17	107.01	2,591	1.2373	151,476
04/24	108.81	583	1.2231	130,594
05/01	109.85	-1,405	1.1991	120,568
05/08	109.12	-5,462	1.1864	120,505
前週比	-0.73	-4,057	-0.0127	-63

